

印場大塚古墳



木造聖観世音菩薩立像

古

が数多く発見されています。矢田

配が進み、各地に城が築か

1

ま

原型となる印場村、新居村、

稲

狩宿村、瀬戸川村、

井田村の六

江戸時代に入ると現在の市域

中世になると豪族たちによる支

尾張旭市では古代の遺跡や古墳

弥生時代に最初の「ムラ」が誕生

The first village was formed in the Yayoi period Many ancient ruins and burial mounds are found in Owariasahi City. At the Nagasaka Ruins, the oldest of all ancient sites in the city, pit houses and earthenware from the Yayoi period were unearthed, which indicates the presence of villages in that period. In addition, a tumulus group tells us of the presence of a powerful person who ruled this area.

元されている印場大塚古墳や白山

していたことを伝えています。

制度である条里制の名残とも考え す。印場地区では、古代の土地区画 した権力者の存在を物語っていま 号墳などの古墳群はこの地を支配

る地割も確認されています。

のころから「ムラ」があり、

人が暮 そ

代の竪穴住居や土器が出土し、 年代の古い長坂遺跡からは弥生時 しています。市内の遺跡の中で最も かけての集落遺跡と古墳群が分布 南岸には弥生時代から奈良時代に



土塁(新居城跡)

長の次男、織田信雄が寺領を保証しは当時、尾張を支配していた織田信 た書状(市指定文化財)が伝わって を巡って豊臣秀吉と徳川家康が 年)には、織田信長の後継者の地位 で発見された城としては最大級で 市内で最も創建の古い良福寺に 城山公園にある新居城跡は市内 戦国時代の天正12年(1584 白山林の戦いの舞台になるな 戦場の Turning into the scenes of the Battle of Komaki and Nagakute

った小牧・長久手の戦いの

戦国武将が足跡を残しました。

In the medieval era, local ruling clans increased their dominance and built castles in different places. Araijo-ato (Ruins of Arai Castle) in Shiroyama Park is one of the largest castles in the city. During the Warring States period, this area was the battleground for the Battle of Komaki and Nagakute, in which Toyotomi Hideyoshi and Tokugawa leyasu fought. As such, military commanders left their marks here.

初期には完成し、

周辺の田畑を

潤

していました。 名古屋と瀬戸、

維摩池や濁池などは、 多くのため池が造成され、 田開発が進み、農業の水源として つの集落が発展していきました。新

追分の石仏



瀬戸街道

Reservoirs and roads continuing to the present

瀬戸と信州を古

の尾張藩主が利用した殿様街道な

名

くから結んできた瀬戸街道や歴代

古屋城下からの物資や人が盛ん どが通り、信州方面や瀬戸方面、

When the Edo era began, six villages, which became the original model for the present city area, were formed. As new fields were developed, many reservoirs were created as sources of agricultural water. This busy area was a strategic location for transportation, since it became a transit point for the Seto Kaido road connecting Nagoya and Seto, as well as Seto and Shinshu, with the travel of many people and the transport of goods

江戸時代の

今も残る

小牧・長久手の戦いの舞台に

今に続くため池や街道

毛受勝助家照

歴史が 新たな歴史を 生む

て馬印を掲げて奮戦し、戦死を遂げました。 賤ケ岳の戦いでは退却する勝家の身代わりとしと伝えられています。天正11年(1583年)、 れた勝家の馬印を取り戻すなど戦功 勝家に小姓として仕え、長島の戦いで敵に奪わ 受勝助家照は、12歳のころより戦国武将の柴田 稲葉村 (現在の尾張旭市稲葉町等) 出身の毛 をあげた

# 今につながる種

Seeds connected to the present

家照の子孫は江戸時代には尾張徳川家に 仕え、稲葉町に伝わる棒の手「検藤流(けん とうりゅう)」は家照の子孫が教えた棒術が 起源と伝えられています。

### Menjo Shosuke leteru

Menjo was born in Inaba Village (the current Inabacho, Owariasahi City). He fought bravely and distinguished himself in many different battles and was killed in the Battle of Shizugatake, while fighting courageously as a substitute for his master Shibata Katsuie who was retreating.



には尾張旭に移り住み、田畑を開墾して新居 (奈良県)・金峰山寺の僧兵団の将として南朝水野又太郎良春は南北朝時代の人で、吉野 万について戦いました。康安元年(1361年) 水野又太郎良春 (現在の新居町等)を開きました。菩提寺の

## 今につながる種

られる宝篋印塔と五輪塔があります。

養寺の裏山には良春とその一族の墓と伝え

Seeds connected to the present

良春が新居村の人々に教えたと伝えられる 棒術は、良春の異名「無二」の名を冠した棒 の手「無二流(むにりゅう)」として尾張旭市 の棒の手の流派の一つになっています。

#### Mizuno Matataro Yoshiharu

Mizuno, who lived in the South and North Courts period, commanded a group of warrior monks in support of the South Court. He cleared the fields and established Arai Village (current Araicho).

